

MRI 検査説明書(単純・造影)

様

予約日：令和 年 月 日： 予約時間 時 分

予約時間の60分前までに受付にお越しください。

<検査当日の注意事項>

- 検査は予約制になっています。受付後、放射線科医師による診察後に検査を行います。
- MRI 検査は強力な磁場を利用し、断層撮影する検査です。
- 検査時間は内容により異なりますが、通常 30~60 分程度の長時間の検査です。
検査中、体動のある方は検査できない可能性があります。
- 造影 MRI の場合は食事制限があります。予約時間の3時間前より絶食(飲水可)となります。
しかし、MRCP (胆嚢・膵臓) の検査の場合、食事は4時間前より、飲水も控えてください。

<下記に該当する方は主治医に申し出てください>

- 今までに手術や事故等で、体内に金属や異物が入っている方
(心臓ペースメーカー、埋め込み式除細動器、心臓人工機械弁、手術用クリップ、人工関節、
刺激電極、圧可変式バルブシャントシステム (VP シャント・VA シャント・LP シャント) 等の
体内電子機器、事故等で金属片等)
- 人工内耳、磁石式のインプラントが入っている方
- 不整脈や発作性の病気、アレルギー、気管支喘息等がある方
- 現在、妊娠および妊娠の可能性のある方
- 刺青やアートメイクをされている方
- 閉所恐怖症の方
- 腰痛等で 20 分以上、仰向けに寝られない方

<検査を受けるにあたって>

- 服用中のお薬は、医師からの指示が特にない限り、通常通り服用してください。
- 検査では金属等 (アクセサリー、入れ歯、カラーコンタクト、ブラジャー、ヒートテック等)
があると入室できません。また、湿布やエレキバン、カイロ等も持ち込めませんので、検査部
位に関わらず、すべて外して検査着に着替えていただきます。
- 化粧品 (マスカラ、ファンデーション等) の中には金属を含んでいるものがあるため、化粧を
落としていただくことがあります。
- 増毛パウダーや白髪隠しファンデーションなどのヘアマスカラ類は金属を含んでいるため、付
けて来られた場合は検査できません。検査前日より付けないようにお願いします。

- 腹部の検査については検査前のお食事はお控えください。

午前の検査の方は朝食を摂らないでください（飲水可）。午後の検査の方は昼食を摂らないでください（飲水可）。しかし、MRCP（胆嚢・膵臓）の検査の場合は飲水も控えてください。

<造影検査を受ける予定の方へ>

- 午前の検査の方は朝食を摂らないでください。午後の検査の方は昼食を摂らないでください。
- 水分は摂っていただいて大丈夫ですが、牛乳や卵などの乳製品、また、乳製品が含まれるもの（コーヒー牛乳等）は飲まないでください。
- 服用中のお薬は、医師からの指示が特にない限り、通常通り服用してください。

以上のことを守っていただかないと造影検査ができない場合があります。

- 造影検査には腎機能の検査が必要になります。腎機能は採血の結果により知ることができます。採血の結果により造影検査ができない場合があります。また、採血の結果が出るまで検査が延びることがあります。

- 下記に該当する方は、状況により造影検査ができない場合があります。

- ・以前造影検査で副作用があった方
- ・気管支喘息やアレルギー体質と診断されている方
- ・腎臓の機能が低下している、あるいは腎臓病と診断されている方

<検査終了後について>

- 検査の結果は放射線医がレポートを作成し、紹介病院に郵送で報告いたします。
- 検査結果は紹介病院より説明いたしますので、指定された日時に診察を受けてください。

以上、MRI検査に関しましてご不明な点がございましたら、遠慮なくお申し出ください。
予約時間に来られない方は、下記の連絡先までご連絡ください。

都城医療センター 画像診断センター (0986-23-5005)

<診療料について>

概算（初診料・情報提供料別）

○MRI（造影なし）

1割：2200円程度 3割：6600円程度

○MRI（造影あり → 造影内容や造影剤種別により変動）

1割：4000円程度 3割：13000円程度

独立行政法人国立病院機構 都城医療センター
〒855-0014 宮崎県都城市祝吉 5033 番地 1
TEL. 0986-23-4111 (代表) FAX. 0986-24-3864

MRI 検査における造影剤使用に関する説明書

造影剤を用いることにより、病気の状態がより正確に把握でき、今後の治療に役立てるすることができます。安全な薬ですが、まれに副作用を生じることがありますので、以下の項目をよくお読みになった後に、ご不明な点は質問し、納得されましたら同意書に署名をお願いします。

1) 造影剤とは？

造影剤は、病気を検出したり、病気の性質をより詳しく診断したりするために使われ、通常、静脈注射でおこないます。MRI 用の造影剤は、ガドリニウム製剤です。

2) 造影剤で副作用が生じる危険が高くなる因子

MRI 用の造影剤の場合、アレルギー体質や気管支喘息の方は副作用を生じる可能性が2倍高いと言われています。また、以前に造影剤で具合が悪くなった方も副作用が生じる可能性が高いと言われています。重い腎臓病のある方では、造影剤の排出が遅れ、体内に長く残る可能性があります。

次に該当する方は、造影検査の前に主治医とご相談ください。

- ① 以前に MRI 用または CT 用の造影剤で具合が悪くなったことがある。
- ② 気管支喘息やアレルギー体質と診断されている、または診断されたことがある。
- ③ 重い腎臓の機能低下がある、あるいは腎臓の病気があると診断されている。
- ④ 妊娠中あるいは妊娠の可能性がある（胎児への影響がわからっていないため）。
- ⑤ 授乳中である。（造影剤使用後 48 時間は、授乳を避けて下さい。）

*放射線科医師の判断で造影剤を使用しない場合がありますので、ご了承ください。

3) 造影剤の副作用

MRI 用造影剤（ガドリニウム製剤）の副作用には次のようなものがあります。

- ① 軽い副作用（約 100 人に 1 人以下 : 1%以下）
嘔気、嘔吐、熱感、動悸、頭痛、かゆみ、発疹など。基本的には治療を要しません。
- ② 重い副作用（約 1 万人に 5 人以下 : 0.05%以下）
呼吸困難、血圧低下、意識障害など。通常は治療が必要で、後遺症が残る可能性があります。
- ③ 他の薬剤と同様に、ごく稀に死亡例の報告がありますが、当院ではそのような事例はありません。（約 100 万人に 1 人以下 : 0.0001%以下）

4) 検査前の絶食および飲水について

造影検査を行なう上で、検査前の食事はお控え下さい。午前の検査では朝食、午後の検査では昼食を検査が終わるまで食べないでください。また水分においては、検査前後でいつもより水分を多めにとってください。乳製品飲料はお控え下さい。なお、水分制限をされている方は医師に申し出してください。

5) 一度承諾した後、造影剤検査を受けたくなくなった場合

あなたは一度承諾した後も、検査前に造影剤の使用に関する承諾を取り消すことが出来ます。その場合、検査の診断内容が低下する可能性はありますが、造影剤を用いない検査を受けることが可能ですので、あらかじめ検査前に主治医にご相談下さい。また承諾したにもかかわらず検査当日になって、体調の変化などで造影検査を取り消す場合には、MRI 検査室のスタッフにご相談下さい。

6) 緊急時の対応

万が一副作用が生じた場合、放射線科医が、迅速に対応いたします。

なお、その際の経費は原則として患者様に負担していただくことになります（健康保険適用）。

また、検査終了後数時間～数日後に、何らかの異常が現れた場合には、各診療科へご連絡下さい。

造影剤使用に関する問診票 (MR I)

患者 ID _____

患者氏名 _____

既に、お応えいただいた項目も含まれますが、2重チェックのためです。
ご協力お願ひいたします。

1) あなたの体重を教えてください。 _____ Kg

2) 今までに MRI 検査をお受けになったことがありますか？ ある ない

3) 今までに造影剤を使用したことがありますか？ ある ない

「ある」の場合、どんな検査を受けられましたか？

(CT MRI 尿路造影 血管造影検査 その他)

その時、副作用はありましたか？ ある ない

「ある」の場合、どんな副作用でしたか？ (発疹 かゆみ 吐き気 嘔吐 その他)

4) 気管支喘息、アレルギー体質、アレルギーの病気がありますか？ ある ない

5) 両親兄弟(血縁者)に気管支喘息などのアレルギー体質の方がいらっしゃいますか？
 いる いない

6) 現在、妊娠中または妊娠の可能性がありますか？ ある ない

(検査日に妊娠中または妊娠の可能性がある方は検査前に申し出て下さい。)

*授乳中の方は、48 時間は授乳を避けて下さい。

7) 今までに手術を受けたことがありますか？あれば、何の手術か、ご記入ください。

(_____)